

# 平成26年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 医療整備課  
 担当名: 医師確保対策担当  
 内線: 3643

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B15	小児医療センター新病院建設費(総合医局機構)負担金			一般会計	衛生費	医薬費	医薬総務費	小児医療センター新病院建設費(総合医局機構)負担金	
事業期間	平成25年度～平成29年度	根拠法令				戦略項目	03 医療の安心		
						分野施策	010303 医師・看護師確保対策の推進		
<b>1 事業の概要</b> さいたま新都心に建設中の、県立小児医療センターに付加機能として埼玉県総合医局機構を設置するため、その建設経費を負担する。 (1) 埼玉県立総合医局機構建設費 2,939千円 小児医療センター新病院の設計面積の確定及び工事の進捗に伴う負担金の減額				<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 ア 埼玉県立総合医局機構建設費 [当初]227,785千円 [補正後]224,846千円 さいたま新都心に建設中の県立小児医療センターに付加機能として埼玉県総合医局機構を設置する。埼玉県総合医局機構では、医師の確保や医師の地域偏在の解消のため医師のキャリア形成支援や医師不足病院への支援など総合的な医師確保対策などを実施する。 (2) 事業計画 平成25年度 設計等 平成26年度 建設工事等 平成27年度 建設工事等 平成28年度 開設、事後の環境アセスメント等 平成29年度 事後の環境アセスメント (3) 事業効果 埼玉県総合医局機構において医師確保対策を実施することと合わせて、シミュレーション機器を活用した医療技術の研修等を行うことで研修体制を充実させ、医療技術の向上を図ることができる。このことにより医師の確保が図られ、医師の地域偏在などを解消するとともに、医療人材を育成することができる。 (4) その他 ア 県立小児医療センターの新病院の8階に設置。専有面積 約1,426㎡ イ 医師、看護師等のための研修のためシミュレーション機器を備えた訓練室や診察シミュレーション室などを設置する。 (5) 補正予算の概要 ア 小児医療センター新病院の設計面積の確定及び工事の進捗に伴う、負担金の減額。					
<b>2 事業主体及び負担区分</b> (1) (県10/10)									
<b>3 地方財政措置の状況</b> なし									
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> 9,500千円×3人=28,500千円									
				<b>財 源 内 訳</b>					
予算額		県債						一般財源	補正後の 予算額
決定額	2,939	3,000						61	224,846
現計額	227,785	226,000						1,785	